

単元名	お米プロジェクト～お米×大田の未来～		学年	5年生
内容	A_ものづくり	(ア) 新商品の企画提案型	総時間数	35
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区に住んでいる人の意識に立ち、大田区の魅力をより伝えることができる製品を開発するための内容的・方法的な知識及び技能を身に付ける。 ・自分たちが取り組んでいる米作りの活動を活かして試行錯誤し、地域の社会や人々の「Well-being」につながる製品を発信することができるようにする。 ・米を原料として商品を開発している人々や地域振興に関わる分野で活躍する人との関わりを大切にするとともに、自分や他者のよさを活かしながら、商品開発する活動に主体的に取り組む、よりよい未来を創造しようとする態度を養う。 			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社ロッテの「イノベーションチャレンジ」を通して、「イノベーション」の考え方を知る。 ・大田区観光振興課の取り組みを基に、自分たちが米を育てている経験を活かした新たな商品開発の課題設定をする。 			亀田製菓株式会社 大田区観光振興課
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区の地域の特色について調べる。 ・亀田製菓株式会社から、商品開発について話を聞く。 ・グループを作り、協力して新商品のアイデアを考える。 ・各グループで企画したものをプレゼンテーションし、亀田製菓株式会社や大田区観光振興課からフィードバックをもとに、企画デザインを修正する。 			亀田製菓株式会社 大田区観光振興課 グーグルスライド
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> ・各プロジェクトで企画した製品開発活動を進める。 ・実際に販売できる製品創出に向けて、試行錯誤を繰り返す。 ・学年でプレゼンテーションを行い、参加者に製品についてのフィードバックをもらい、授業の振り返りを行う。 			亀田製菓株式会社 大田区観光振興課
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
国語	書くこと 話すこと・聞くこと 話すこと・聞くこと 読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。 		9
社会 (第5学年)	農業 農業	<ul style="list-style-type: none"> ・生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。 ・生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。 		4
算数 (第5学年)	データの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。 		3
図工	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。 		2
家庭	衣食住の生活	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしく食べるために調理計画を考え、調理の仕方を工夫すること。 		2
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。 			15